

保護者等評価表結果

令和6年 3月実施

		チェック項目	はい(%)	どちらとも書かない(%)	いいえ(%)	ご意見・ご要望(回答及び事業所の考え)
環境・ 体制整備	1	子供の活動等のスペースが十分に確保されているか	50	50		事業所より⇒異年齢児で構成されているため体格の差が見られています。活動内容を工夫することで、安全かつスムーズに活動が展開するよう心がけております。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	100			事業所より⇒最近、障害名(主治医による診断名)が増え、日々専門書やネットでの検索による学習を行っております。専門書による指導計画を参考して、子どもへのアプローチを試みては、反省、再確認、実践を行っております。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置等バリアフリー化の配慮が適切になされているか	90	10		事業所より⇒開設時設置、その後も利用者の身体状況によって取り付けを行いました。
適切な 支援の 提供	4	子供と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等ディサービス計画が作成されているか	100			・毎月連絡帳に貼ってある「活動予定表」で今度は何をするのか、(本人)が確認しています。おやつ作りがいつなのかもチェックしています。 ⇒自分で予定を知ることは、将来的に「自分で予定を立てる」になると思います。あすなるの活動に興味を持って下さり有難うございます。今後も引き続き、楽しい活動を考えていきます。
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100			・いろいろな活動を考えて頂き有難うございます。 ⇒利用者さんによっては、併用利用となり、ほぼ曜日固定の方がいらっしゃるのので、同じ内容にならないように毎月考えています。また、数年前の活動に変化(難易度)を持たせ、個々の成長も確認しております。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子供と活動する機会があるか		70	30	・コロナやインフルエンザの感染を考えると難しいと思います。 ・コロナ禍以降は、なかなか難しいですね。 ⇒感染症に対して、まだまだ気を置けない状況と考えております。また、それぞれの公共機関としての役割もあり、交流＝連携のスタイルは難しいところと考えております。しかし、外出なども徐々に増やしていき、生活の中での関わり合いが持てることを考えております。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100			事業所より⇒契約時に説明をしております。法改正が行われて場合には、追記の文書でお知らせしております。支援の内容につきましては、年1回の面談の際に1年間の取り組みと経過、並びに個別支援計画に沿って説明しております。ご不明な点がありましたら、遠慮なくお申し出下さい。

保護者への説明等	8	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100			<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳で教えてもらえて様子がわかり、感謝しています。 ・忙しい中、連絡帳に詳しく活動の様子を書いていただき、有難うございます。 ⇒短い時間での連絡帳記入になりますので、十分伝わっているのか、不安があります。文章だけではなく、時には絵をかいたり、時系列で示したりしながら、「ここは大切」「この時頑張っていました」(ねらいと努力)や、反対に「難しい=苦手なこと」(お子さんの気持ちを受け止める)等から、子供の姿をイメージし、次へのステップになるよう1日に1回でもよいので顔を見て共通の話題に触れて頂けると、お子さんの成長の発見に繋がるのではないかと考えております。
	9	保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	90	10		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所より⇒連絡帳・送迎時の引き渡しなどに、口頭で近況を伝えながら学校や家庭での様子を知り、保護者の方の内面への支援を心掛けております。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催などにより保護者同士の連携が支援されているか		70	30	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナやインフルエンザの感染を考えると難しいと思います。 ⇒父母の会は現在設けておりません。保護者会につきましては、検討課題の一つと考えております。

		チェック項目	はい(%)	どちらとも書かない(%)	いいえ(%)	ご意見・ご要望(回答及び事業所の考え)
保護者への説明等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	90	10		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所より⇒主として電話・送迎時に口頭での説明をしております。説明に関しては、詳しい状況(時間・対相手がいるのか、どうか・怪我の有無等確認をしています)をお伝えしています。 *状況によっては、児童発達支援管理責任者から連絡する場合があります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	90	10		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子など送迎の時に口頭や連絡帳で日々伝えて頂けてるのでとても安心です。 ・子供が上手く話せなくても伝えて頂いた内容で、コミュニケーションがとれています。 ⇒No8と同様、連絡帳・送迎時での口頭説明となります。毎月の利用の仕方に関しては「希望表」を月の下旬に配布し、前月15日を締め切りとしております。締め切りを過ぎますと、希望に添えない場合がありますので、ご注意ください。なお、締め切日を過ぎて連絡がない場合は、確認のお電話をさせて頂く場合もあります ・保護者は、放課後等サービスの事務的な手続きについて詳しく知らないで、ルールがあるなら事前に伝えるなど配慮してほしい。 ⇒主に契約時や更新時に支給量の変更や契約し支給量の変更がある場合は、保護者の方から連絡を受けてから手続きに入ります。年度途中での契約支給量の変更・契約事業所の変更・追加についても同様です。ただし、受給者証に記載するのは、基本変更する月の前(おおよそ1カ月前あたり)に当事業所は行っております。行き違いや他事業所と若干違いがあるかと思っております。この度は、説明不足でご迷惑をお掛け致しました。今後とも宜しくお願い致します。

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100			・ブログ楽しみにしています。写真を沢山乗せて頂き有難うございます。 ⇒写真を撮る際できるだけ限りベストショットを心がけております。いつもと違う真剣な眼差し、表情等子供たちの普段と違う一面を感じ取っていただけると嬉しいです
	14	個人情報に十分注意しているか	100			事業所より⇒契約時に「利用契約時における個人情報使用同意書」の説明をさせて頂き、了承して頂いた方には署名・押印をいただいております。また、ご都合で退所されても、決して情報は漏らしません。職員が退職する際には、誓約書に署名・押印して情報漏洩のないように努めております。
非常時の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	100			事業所より⇒季節による災害については、佐倉市のハザードマップを参考にして、送迎時間やルートの変更を行っています。その際には、必ず事前に保護者の方に連絡をし、了承を得たのち実施しております。*保護者の勤務先・勤務時間によってはあすなるにて待機、または、可能な時間帯にお迎えをお願いする場合があります。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出・その他必要な訓練が行われているか	90	10		・最近地震が多く、不安ですがあすなるさんと近所なので、連携して災害に備えたいと思います。 ⇒活動時間に主として「地震」を想定した訓練を行っています。利用者さんの中には音に過敏な方(地震お知らせアラーム)や、以前の記憶から恐怖心・気持ちの乱れになることが考えられますので、頻度や内容、ルートの確保や誘導には、細かな配慮をしております。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	95	5		・メダルを持ち帰った日は、特に楽しく過ごせて嬉しそうに見えます。 ・日々の活動がマンネリ化しないよう、様々な活動内容で沢山の経験をさせてもらっています。・いつも大変楽しみにしています。帰宅後もご機嫌で活動やおやつのことなど教えてください。 ・「明日は何？」と楽しみにしています。有難うございます。 ⇒期待を持って利用されていること、同時にとても楽しく、日々の活動を生活の糧になっているようで大変うれしく感じております。異年齢児(高校生含む)の利用が放課後等ディサービスの柱となります。兄弟姉妹が少なくなっている現代においては、学校とは違う環境と援え、昔ながらの遊び・行事を取り入れたり、令和世代の子供たちのニーズも取り入れながら、保育の5領域を念頭に「明るく・楽しく・元気よく」過ごせることを心がけております。何か、活動内容や支援内容についてご不明な点がありましたら、遠慮なくお声をかけて下さい。
	18	事業所の支援に満足しているか	95	5		・家では出来ない活動もあり、いろいろな経験をさせて頂いて有難うございます。 ・活動内容も子供たちの反応を見ながら少しずつ修正したりと、とても工夫して頂いています。感謝しています ・子供の気持ちに寄り添った対応をして頂いて有難いです。いろいろな個性を持つ子供たちを支援することは、大変だと思います。1人1人に合った支援を有難うございます。 ⇒上記の内容とリンクしますが、楽しく過ごすこと・笑って過ごせる場所・時には怒りが爆発してしまう場所、など人間には感情があり、それを素直に出せる場所でありたいと考えております。もちろん、大人も子供も同じです。周りの子供たちも、様々な場面を見る、聴く、感じ取ることで心の成長に繋がるがあると思います。厳しさの中に優しさをもっているそんな人でありたいと思い日々利用者の方と職員一同接しております。